

事業者における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月31日

事業所名 放課後等デイサービスのんびり学園

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	0		パーティション等を利用して、個別スペースの確保に努めています。感染防止にも寄与しています。
	②	職員の配置数は適切である	5	1	0		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3	0	段差なし・手すりあり・トイレの手すり設置・身障者（児）には完璧でない	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	1	4	1		日程や終礼の内容を見直し、効率的かつ確実に情報伝達が行われるように書類を整備し工夫しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0		保護者へのアンケート調査の結果を、職員会議等で検討し、目に見える形で業務改善していくたい。また、日々の連絡帳や送迎時などに利用者や保護者のニーズの把握に努めて意向を把握していくたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	0	全て公開しているとは言えない・個人として確認できない	ホームページで内容を公開します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	3		今後は、第三者評価を検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	0	・入職して間もないため、分からぬ 研修機会を各職員に与えている。	今後は、OUT・OFFJTとともに積極的に取り組んでいきます。 パート職員に対する研修等には改善の余地があります。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	2	0		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	0	利用毎に記録の記入	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	0	チームで立案	
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	毎日変えている その日の天候や利用者の体調等を考慮し活動プログラムを考案実施しています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	0		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0	ワークシステムと戸外活動を行っている 利用者の障害特性に合わせた活動を取り入れている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	0	朝礼・終礼にて確認している。 できている所とそうでないところがある	

	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0	終りで行う	伝達ミスをなくすため必要な伝達項目をしづらかにしています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	日々記録し改善につなげている	月まとめのケース記録を作成しています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	定期的なケース会議	保護者との意見交換を参考にして、本人にとって意味のある計画ができるように計画立案のスキルアップを図ります。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3	3	0		
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2	0		
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	2	0		
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4	0	医師の指示書ファイルで保存している 医療的ケア児が利用していない・医療的ケアが必要な子を受け入れた事がない、受け入れ時は緊密に連絡を医師と図る。	
関係機関や保護者との連携	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	0	保育園や児童発達支援事業所へ訪問しアクセスメントをとっています。	
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1	0		要請があれば、保護者の了承を得て情報伝達を行いたいと思います。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	0	講書を持つ利用者の意志決定支援について学びを深めている。	今後はオンライン研修も含め専門的機関の研修を受講しています。
関係機関や保護者との連携	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	3	3	ない故、積極的に訪問していく・機会がない・地域や社会との交流の場は適切に提供できている	
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	1	3	2	時々参加している	今後は、自立支援協議会への参加を積極的に行っていきたいと考えています。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0		
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	1	支援する場合と支援を見送る場合がある	必要性があれば、施設で研修の機会を設けようと思っています。
	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	2	0		保護者へより分かりやすくご説明できるように、説明する側が理解を深める必要があるかと考えています。

	(31) 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	0		
保護者への説明責任等	(32) 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	3	父母の会の活動はない 保護者同士の連携について、どのような会を運営していくか検討していきたいと思います。	
	(33) 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		今年度は、ご自宅へ出向き直接説明するなど対応してきました。
	(34) 定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	のんびりネット発行・保護者宛の手紙等によって周知している	今年度は会報誌を作成し情報発信しています。
	(35) 個人情報に十分注意している	6	0	0		個人情報を破棄する際には、シミュレッターを使用する。個人情報は公に見れないように工夫する。
	(36) 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	0	一部不完全なところがある	
	(37) 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	1	夏祭り等で招待する・のんびりフェス開催	利用者の特性を鑑みて、地域住民を招待できるレク等があれば招待を検討していきたい
	(38) 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	4	0	策定しているが保護者に全部周知しているとは限らない・周知が不完全	マニュアルは整備されていますが、内容把握、理解、保護者・職員への情報共有が不完全であるため、今後はマニュアル活用を推進していきたいと思います。
非常時等の対応	(39) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0		消防署にも来所をお願いして消防訓練、避難訓練を実施していきたいと思います
	(40) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0		職員会議では定期的に研修を行い、虐待防止、身体拘束防止に努めています。
	(41) どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	2	現在身体拘束を必要とする利用者はいません。 必要時にマニュアルに従い受け入れ支援をしていきます。	
	(42) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0		
	(43) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0		ヒヤリハット作成については、作成がまちまちである。作成の自安を周知する必要がある。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。